

2026 年 1 月 6 日

プレスリリース No.028-25

静岡文化芸術大学「引佐耕作隊」

久留女木の棚田で収穫したお米の試食会を開催します

静岡文化芸術大学の学生有志による「引佐耕作隊（いなさこうさくたい）」は、2016 年より浜松市浜名区引佐町「久留女木の棚田」において、耕作放棄地を活用した米作りを行っています。活動を通じて、棚田が持つ「多面的機能」を広く伝えるとともに、収穫した米の販売収益を活動費に充てることで、持続可能な取り組みを目指しています。

10 月下旬に稲刈りを実施し、脱穀・粳摺りを終え、収穫量は 160kg（品種：にこまる）となりました。12 月下旬に精米・パッケージ詰めを行いました。このお米は「久留女木 棚田の恵」として、1 袋 300g 入りで約 400 個販売する予定です。

販売に先立ち、メンバーによる試食会を開催します。

■ 試食会の概要

【日 時】2026 年 1 月 13 日（火）17:00～18:00

【場 所】静岡文化芸術大学 北棟 5 階 旧職員食堂(北 512)

【参加者】静岡文化芸術大学学生 4～6 名

■ 「久留女木の棚田」について

浜松市浜名区引佐町、観音山の南西斜面（標高約 250m）に位置し、総面積 7.7ha、約 800 枚の田んぼが広がる美しい棚田です。平安時代起源とも言われる歴史ある棚田で、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」や「静岡県景観賞」に選ばれていますが、近年は後継者不足により耕作放棄が進んでいます。棚田が荒れると景観だけでなく、土砂崩れ防止や地域交流などの「多面的機能」も失われます。

■ 「引佐耕作隊」の活動

学生主体で田起こしから稲刈りまでの全工程を行い、収穫した米は「棚田の多面的機能」をデザインしたパッケージで販売しています。

また、地域の納涼祭や収穫祭の手伝いのほか、自治会定例会への参加など、米作り以外の面でも棚田と地域に深く関わっています。今年度は雑草や水不足に苦戦しましたが、地域の方々の支えにより無事収穫できました。



※「久留女木 棚田の恵」の販売については、別紙資料（チラシ）をご覧ください。

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 文化政策学部 文化政策学科 3 年 原理純
Tel. 090-1756-3100/E-mail. g2312046@suac.ac.jp

公式 Web サイト





kurumek;
久留女木
棚田の恵

2026. 1.19 (月) – 30 (金) 販売



一袋 500円 300g



大学生協購買にて販売

※売り切れ次第販売は終了します

こんにちは！わたしたちが引佐耕作隊です

久留女木の棚田は、浜松市浜名区引佐町の北部の山間部に位置します。
「つなぐ棚田遺産」「静岡県景観賞」にも選ばれており、美しい景色が広がっています。しかし、その耕地の約 6 割は休耕田となっています。そこで静岡文化芸術大学の学生たちで 2016 年 4 月「引佐耕作隊」を結成し、地域の方々の協力のもと、お米作りに取り組んできました。人間が生きるために必要な糧を作り出してくれる棚田に感謝し、収穫されたお米を「久留女木 棚田の恵」と命名しました。是非、ご賞味ください。

静岡文化芸術大学「引佐耕作隊」一同

